



# 中央区環境情報誌

中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

## 6月2日(日)に「環境情報センター」



## を開設しました。

環境情報センターは、地球温暖化など、さまざまな環境問題をわかりやすく学ぶとともに、環境活動の機会と場を提供する施設です。館内には、デジタル技術による展示情報コーナーや交流室、研修室があります。

**◆施設概要◆**  
 利用日時 毎日(十二月二十九日～一月三日を除く)午前九時～午後九時  
 所在地 中央区京橋三丁目一東京スクエアガーデン六階 京橋環境ステーション内

**◆施設の内容◆**  
 1. 展示情報コーナー  
 ① デジタル環境情報  
 「エコを探す(江戸時代、現代、未来)」江戸時代から現代、さらに

### デジタルコンテンツ「エコを探す」



② 環境活動展示  
 環境活動団体の活動を記録・展示し、地域での活動「見える化」します。

③ 施設インフォメーション  
 区の環境イベント情報や活動団体の情報を紹介します。

④ 環境インフォメーション  
 中央区の概要や環境問題をわかりやすく紹介します。

未来に続く、さまざまな環境活動を知ることが出来ます。「中央区の森を育てよう」檜原村(ひのはらむら)の植林をデジタルコンテンツで体験し、森林の大切さを楽しみながら学ぶことができます。

6月2日 開設記念イベントを実施しました。

開館初日となる六月二日(日)午後二時からオープニングセレモニーが始まりました。環境活動に取り組む団体や区民の皆さんが集まる中、矢田区長が「大切な地球環境を守るために、都心中の都心ともいべく中央区に開設したこの施設から、全国へ、世界へ、多くの環境情報を伝えたい」と挨拶。来賓の方々からも、環境保全に取り組み続ける中央区への大きな期待が寄せられました。

テープカットの後には、「中央区の森」を思わせる木々をあしらった展示情報コーナーが開かれ、研修室では立正大学名誉教授・北原進氏による講演会が行われました。テーマは「百万都市 江戸のエコな生活の知恵」。江戸時代の人々が、いかに知恵と工夫を凝らしていきいきと暮らしていたか。当時のエコライフのようすが紹介され、五十名の受講者の方は、資料の絵図に目を通しながら真剣に耳を傾けていました。

六日(木)には、中央区環境フォーラムとして「環境製品技術展示会」と「省エネセミナー」を開催。事業者向けの環境・省エネ製品技術の紹介や省エネ診断・相談のコーナーの設置とともに、中央区の温暖化対策「中央エコアクト」をはじめとする中小規模事業所向けの省エネ対策についての講習が行われました。

この新たな環境活動の拠点において、今後もさまざまなイベントを展開していきます。皆さん、ぜひご来館ください。

2. 交流室  
 環境活動団体を支援し、団体間の交流を促進します。

3. 研修室(二室)(定員各四十五人)  
 環境に関する知識を深めるために、講演会やイベントを実施するほか、登録団体や一般の団体への貸し出しもを行います。(有料)

「中央区の森を育てよう」



環境情報センターオープニングセレモニー



● 問合せ先 環境情報センター  
 ☎(6225)2433 <http://eic-chuo.jp/>

歩きたばこ・ポイ捨て禁止です。

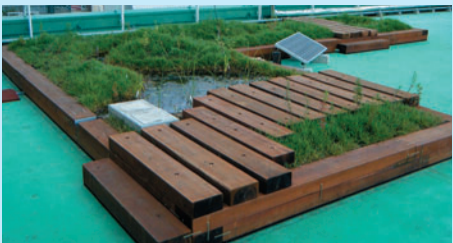
リサイクル適正(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます

「中央区歩きたばこ及びポイ捨てをなくす条例」

# ビオトープの整備を進められます

## 「ビオトープ」とはどんなもの？

BIO(ビオ・生きもの)とTOP(トープ・場所)の合成語で、「生きものの暮らす場所」という意味です。残念ながら都市部では、自然の生物が減少してしまいましたが、近年、学校や公園の中に池や草地、樹木によるビオトープを整備し、自然を再現することが注目されています。ビオトープを作ることによって、昆虫や野鳥などの生きものを呼び戻すことができ、近くに別のビオトープや公園などがある場合は、それぞれの間のネットワークも生まれ、より様々な生きものが暮らせる環境になります。また、ビオトープの管理を通じて生きもの観察会などを行うことで、子どもたちが身近な場所でも多様な生きものたちの生活に触れ、自然体験学習ができるという利点もあります。



## 区内の整備状況

区では、区内の幼稚園、小学校、中学校にビオトープの整備を進めています。また、佃公園、石川島公園など4つの公園においても、ビオトープを整備し、あしなどの植え付けなどを行っています。

## 久松小学校にビオトープ

平成二十四年に久松小学校の屋上に児童が身近な自然と触れ合える場所として、池を中心としたビオトープを整備しました。児童たちの自然観察の場となるビオトープの流れの部分は、かつて私



たちの身近にあった小川をイメージしています。川幅や川床の高さに変化をもたせ、自然の川にあるような瀬や淀みをつくり、昆虫や水生生物の住み家となるようにしました。また、使用した植物は、かつて東京近辺に多く生育していた種類を選びました。そして、陸生、湿生、抽水、浮葉、沈水植物の多様性を創出するようにしました。

ビオトープの流れに使用する水は、雨水を有効活用するため雨水タンクを設け、タンクに溜まった雨水を供給するようにしました。もしも長い間雨が降らず、雨水が不足した場合には自動的に水道水が雨水タンクへ入るようになっています。また、自然エネルギーを活用するため、水の循環にはソーラー発電を使用していたり、児童たちが直接触れる木材部分などの最終仕上げの塗料には天然素材の柿渋を使うなど使用する材料にも配慮しました。

ビオトープ完成後には、放流したメダカや飛来したアメンボが居心地よさそうに泳ぎ回っていました。その後、トンボも飛来し、産卵、孵化したヤゴが現れるなど、身近な自然環境が順調に育まれています。

●問合せ先  
水とみどりの課 緑化推進係  
☎(3546)5434

# 公園・花壇ボランティア

## 「花咲く街角コミュニティ」

### 「緑のアダプト制度」とは

中央区内在住、在勤者を対象として、公園内の一部や花咲く街角花壇などの管理のお手伝いをしていただく制度です。

今回は、「ザ・トウキョウタワー」近隣住民のボランティアの方々と作られた、「花咲く街角コミュニティ」を訪問いたしました。

### 中央区を花とみどりの街にしたい

「花咲く街角コミュニティ」は三年前、平成二十二年四月に東京をみどりや花の多い街にしたいという希望から、当時マンションの理事をしていた大野さんを中心に、住んでいる身近な中央区からきれいな街づくりをして、モデル地区になれたらと思いいボランティアの方々ではじめられました。



週二回、木曜日と日曜日の午前九時に集まって活動しています。

最初はマンション前の遊歩道の緑地帯の一部百坪のところから花壇を作り始め、徐々に幅を広げて今年の春、マンション前の遊歩道の両側いっぱい四季折々の花を咲かせるようになったそうです。

「このあたりは高いビルが多いので、風が強く、植物の選定も苦労しています。」年三回の植え替え時期には、花の苗と一緒に腐葉土なども支給していただきありがたいです」と代表の大野さんが語られました。

●問合せ先  
水とみどりの課 緑化推進係  
☎(3546)5434



区の担当者とは話し、高齢のボランティアの方でも、水やりや手入れのしやすい、高さのある花壇も作ったそうです。

はじめはこのマンションの方だけでしたが、いまでは、近隣の方々も参加していただき、人数も増えたそうです。夏場はこまめに、水やりをしなくてはならないので大変ですが、声をかけあつて花壇にきて下さるそうです。



### 行動することで、まわりも変えられる

この活動を通じ、積極的に行政とお話ができるようになったそうです。「植物を育てるには、時間がかかり、色々と試行錯誤をしています。季節の花の花壇があることで心が和むと声をかけていただいたり、季節感を感じていただけたら防犯にも役立つと言われることがとても嬉しいです。今後この花壇が美しい街のモデルとなるよう活動していきたい」と熱い思いを語って頂きました。

# 遮熱性舗装

## ●都市の夏

真夏の日中、アスファルトに覆われた道路の路面温度は最高約六十℃近くまで上昇します。都市部の道路はそのほとんどがアスファルトに覆われているため、これが都市の気温上昇の一因と言われています。中央区内は総面積に対し、アスファルト舗装の割合が二十三区内で最も高くなっています。そのため、環境土木部では区内のより良い環境を目指し、環境にやさしい道路舗装として「遮熱性舗装」を取り入れています。



### ●遮熱性舗装のしくみ

遮熱性舗装とは、特殊な塗料でアスファルトを塗装し、道路の路面温度を低減させる舗装です。その塗料には太陽の日差しを反射させる反射材や特殊な顔料が含まれていて、アスファルトには熱を吸収し、蓄えやすい性質がありますが、遮熱性舗装を施すと日差しを跳ね返すことでアスファルト内の蓄熱を少なくすることができま

これにより日中の路面温度上昇を抑えるとともに、蓄熱の低減による熱帯夜の防止効果も期待できます。現在、環境土木部ではアスファルトの面積が大きい、広幅員の道路に

順次、遮熱性舗装を実施しています。その計画の中で、対象路線の整備率は現状で四十五、三%となっており、十年後には七十九、五%を目標としています。

【参考】  
現在遮熱性舗装が  
施されている道路(区道)

- ・清洲橋通り
- ・清洲橋通り(二部)
- ・人形町通り(二部)
- ・鍛冶橋通り(二部)
- ・八重洲通り(二部)



なお、清洲橋通り沿いの浜町公園入口には、遮熱性舗装と通常の舗装の温度を計測し、表示しています。遮熱性舗装の効果を比べて見ることで、是非ご覧になってみてください。



●問合せ先  
道路課 まちなみ整備係  
☎(3546)5247

# 中央エコアクト 認証事業所・第34号

## 丹波屋 株式会社

### 我慢せずに、継続するからこそ、意味がある。

中央エコアクトは、区内の小規模の事業所において地球温暖化対策を進めるための取り組みです。事業所の状況に合わせて、CO<sub>2</sub>削減計画を立て、それに沿って省エネルギー活動や従業員への環境教育を実践することで、事業活動に伴い排出されるCO<sub>2</sub>の削減とともに、光熱費の削減を図ることが出来ます。

丹波屋株式会社は、中央エコアクトに取り組み、認証を取得された事業所です。

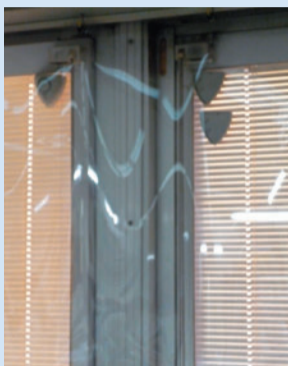


左から、金井社長、金井専務、長島経営改善室長

洋服と雑貨の卸業を営む丹波屋株式会社には、三百年以上もの歴史と、キセル製造販売の時代から受け継いだ「もったいない精神」が息づいています。知恵を絞り、自分たちで工夫する社風で、大きな省エネを達成しました。無理せず続けていく取り組みを、丹波屋株式会社の方々に語っていただきました。

「東日本大震災後に、都内各所でも計画停電が実施され、弊社も何かできることはないかと、中央エコアクトの説明会に参加したのがきっかけです。取り組みやすく、大変いい制度だと思いました。使わない場所の照明をこまめに消すなど、すでに気づいていたところから節電対策を行っていましたので、社員も抵抗なく始められたと思います」

「どの様な内容でどんな成果を得られましたか？」



▲※1

「オフィスでは、窓の内枠にビニールシートをカーテンのように(※1)吊るし、断熱材の代わりにしました。夏は、今までは室温が上がらず、空調の設定温度を高くすることができました。商品展示フロアには効率がよく、配光範囲も広い暖色系の照明(Hf形蛍光灯)を使用しました。また、店舗閉店後は、不要な電気をすぐに消灯するよう心がけています。さらに、ドアの間口には、大きな非常灯(※2)を交換し、消費電力を十分の一



▲※2 交換後の非常灯

「お客様に不愉快な思いやご不便を感じさせないように実行するという点です。節電を意識するあまり、お客さまはもちろん、社員自身も我慢するのは、よくありません。継続していくには、無理せず続けることが大切ですからね」

「ご紹介いただいたもの以外に、他の事業所にもお勧めしたい省エネ対策があれば教えてください。」

「床面をきれいに磨き上げる(※3)と、思いのほか室内が明るくなつて効果的です。また、屋上に簀の子を敷き、西側の外壁に断熱塗料を塗れば、直射日光の熱を抑えられます。ただ、これらは一斉に行うのではなく、アイデアを出して、できる時にできる範囲でやる。そうすることで長く続けることができました。今後は、無理なく取り組みを継続しながら、契約電力をさらに九十KW以下に抑えられると思っています」



▲※3 上は清掃前、下は清掃後

●問合せ先 環境推進課  
温暖化対策推進係  
☎(3546)5406

## 自然エネルギー・省エネルギー機器等 導入費助成(平成25年度)の 申請を受け付けています!

区では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減するため、自然エネルギー機器や省エネルギー機器の普及を進めています。機器を導入の際には、ぜひご利用ください。

機器によっては、国や都でも助成制度があり、区の制度とあわせて助成を受けられる場合があります。

### ●対象機器

太陽光発電システム、エネファーム、LEDランプ(事業所、共同住宅共用部のみ)など

詳しくは、区のホームページをご覧ください。

### ●ホームページ

<http://www.city.chuo.lg.jp/kurasi/kankyo/taisaku/kikijosei/index.html>

●問合せ先 環境推進課 温暖化対策推進係 ☎(3546)5406

## 第10回 エコまつり を開催しました



6月9日(日)浜町公園で「第10回エコまつり」が開催されました。イベントを楽しみながら、ごみの減量やリサイクル、省エネルギーなど環境問題についての意識を高めてもらおうというもので、毎年多くの参加団体が趣向を凝らして展開しています。電気・ガス・水道に関するエコ知識を身につけたり、江戸バスの運転席で写真を撮ったり、生き物を観察したり、と内容も盛りだくさん。今回も強い日差しが照りつける中、午前10時の開場と同時に、ぞくぞくと家族連れが訪れました。



夏の節電対策コーナー

スタンプラリーマップを手に各ブースを巡り、クイズや体験に挑戦。「中央区の森」の間伐材を使って卓上カレンダーを作るブースは、子どもたちでいっぱい。係員の指導のもと、用意されたキットで熱心に制作していました。また「ごみ・資源の正しい分け方」のブースでは、たくさんのマグネットに書かれた品目を「資源ごみ」「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に分類するゲームを実施。できるだけたくさん仕分けようと真剣に取り組む方々にぎわいました。そして毎年恒例の「自転車のリサイクル販売」は、今年も大盛況。



間伐材を使ったカレンダーづくり

同時開催のフリーマーケットも78店が出店し、出店者も来場者も汗だくで楽しんでいました。



ごみ資源の正しい分け方

区民の皆さんに、エコ活動への関心を高めていただくためのエコまつり。中央区では、より多くの方々に親しんでいただけるよう、これからもさまざまな視点で企画し、継続していきます。

●問合せ先  
環境推進課 環境活動係  
☎(3546)5403

## クリーンデーが行われました



5月30日(ごみゼロの日)に近い、5月26日の日曜日にクリーンデー(区内一斉清掃)が行われました。

今年の参加は、別の日程で実施された団体を含め、253団体、16,420人のご参加をいただきました。ありがとうございました。

区では、毎月10日を中心に地域で身近な場所を一斉に清掃を繰り返す「まちかどクリーンデー」を実施しております。

「住む人、働く人、訪れる人」皆さんが、気持ちよく過ごしていただけるようなまちづくりに今後ともご協力をお願いいたします。

●問合せ先  
環境推進課 環境活動係 ☎(3546)5403

# 中央区の森 ニュース!

中央区では、平成十八年度から、広域的な地球温暖化対策として、森林を荒廃から守り・育てるため、「中央区の森」事業を進めています。檜原村数馬地区にある「中央区の森」において森林保全活動を行うNPO法人への支援を行っています。

また、平成二十四年度からは、新たに檜原村南郷地区においても、森林保全活動を開始しました。

「中央区の森(数馬地区)」のガイドマップができました。



自然豊かな森に戻りつつある「中央区の森」により多くの皆さんが足を運び、散策を楽しんでいただくために、このたび「中央区の森(数馬地区)ガイドマップ」を作成しました。

このガイドマップは、区民・区・檜原村等で構成された「中央区の森環境ふれあい村推進協議会」が主体となって作成したものです。

ガイドマップには、散策ルートだけでなく、「中央区の森」で見られる動植物の情報や、植物の見分け方、森の育て方などさまざまな情報が盛り込まれています。

「中央区の森(数馬地区)」は、浅間尾根登山口バス停横からハイキングコースが整備さ

れていますので、皆さんもこのガイドマップを手に登ってみてはいかがでしょうか。

ガイドマップは、区役所七階窓口で配布しているほか、ホームページからもダウンロードできます。

中央区の森(南郷地区)の森林整備状況をお伝えします。



昨年夏頃から、森林保全活動に必要な作業道を整備し、十二月頃からは、本格的に人工林の伐採を数回にわたりに行ってきました。今年五月には、区民や在勤・在学者を対象とした「中央区の森林体験ツアー」を実施し、伐採した場所に参加者がモミジやコナラなどの広葉樹を植樹しました。今後、さらに間伐・植樹を進めていく予定です。

中央区森の応援団が設立されました。

平成二十五年一月、中央区の森環境ふれあい村推進協議会の委員有志から、中央区の森の普及啓発や、間伐材の利活用の推進などを目的とした「中央区森の応援団」が設立されました。今後、区と協働しながら区民・町会・企業の皆さんの協力をいただき、さまざまな活動を進めていきます。

事業者・団体の皆さん中央区の森で森林保全活動してみませんか?



区では、区内事業者・団体の方を対象に、「中央区の森」を活用した森林保全活動事業に係る費用の一部を助成しています。環境活動の一つとして、「中央区の森」で森林保全活動を行い、環境保全に貢献してみませんか?興味のある方は、ぜひ一度ご相談ください。

※募集団体数になり次第、終了とさせていただきます。

## 中央区の森寄附金へのご協力ありがとうございました。

平成24年度にご寄附頂いた方 (順不同)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○団体・事業者               <ul style="list-style-type: none"> <li>エコ・アクション・ポイント事務局(株式会社ジェーシービー)様</li> <li>中央区婦人学級連絡会様</li> <li>茅場町二・三丁目町会様</li> <li>三菱製紙販売株式会社</li> <li>株式会社ミルックス様</li> <li>東京農工大学日常生活コンピューティング研究室様</li> <li>ほか2団体</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人               <ul style="list-style-type: none"> <li>喜納 愛子様</li> <li>喜納 稔様</li> <li>今井 佳子様</li> <li>大久保みよ子様</li> <li>杉本 七枝様</li> <li>倉田佐智子様</li> <li>柴川 康子様</li> <li>ほか7名</li> </ul> </li> </ul>
事業開始から寄附金の合計額 3,918,989円	

千円以上のご寄附をいただいた方には、「中央区の森」の間伐材を使用したオリジナルノベルティグッズを差し上げています。

皆さんのご協力お待ちしております。

●問合せ先  
環境推進課 環境活動係  
☎(3546)5654



# みんなで節電しましょう

東日本大震災から2年3か月が経過しました。当時、電力供給不足から家庭やオフィスでは節電に大変努力しました。現在では電力需給の状況は改善しつつありますが、皆さんの節電の取組は今でも引き続き実行され、定着しているとみられます。

家庭やオフィスで、みんなが少しずつ節電の努力をすることが、もっと安定した電力供給につながります。さらに、一人一人が実行する節電が、CO<sub>2</sub>削減や地球温暖化防止にも貢献します。今夏もみんなで少しずつ節電しましょう。



熱中症には十分注意しましょう。無理せず、できることにチャレンジしましょう。

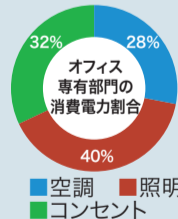
## 家庭での節電 3つの方法

- ①カット=減らす**
  - 家電製品を省エネモードに変更する。
  - 使わないときは、プラグをコンセントから抜く。
- ②シフト=ずらす**
  - 電気使用が多い時間帯を避ける。
  - 定格電力の大きい家電製品の同時使用を避ける。
- ③チェンジ=切替える**
  - ほかの方法に切り替える。
  - 省エネ効果の高い製品への切替え
  - 太陽光発電などの自然エネルギーの利用
  - 家電製品を使用しない方法の検討

出典：クール・ネット東京「見直していきましょう 電気の使い方」  
<http://www.tokyo-co2down.jp/ecology/home/>

## オフィスビルでの節電 3つのポイント

- ①照明**
  - 執務室の照明を半分程度間引きする。
  - 使用していない会議室や廊下などは消灯を徹底する。
- ②空調**
  - 執務室の室内温度は28℃とし、クールビズを励行する。
  - 使用していない場所の空調は停止する。
- ③コンセント**
  - 長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。
  - 業務終了後は、業務に必要なファクシミリ等を除き、プラグをコンセントから抜く。



出典：ECCJ省エネルギーセンター「オフィスビルの省エネルギー」  
[http://www.eccj.or.jp/sub\\_02.html](http://www.eccj.or.jp/sub_02.html)

## 省エネルギー診断(無料)の活用

外部の専門家によるアドバイスを受けることは、新しい知見が得られる、違った観点からの分析ができるなど、大きな効果が期待できます。エネルギー使用の無駄をなくし、家庭向けには「すぐできる省エネ・節電のコツ」や事業所向けには「経営に優しいコスト削減・環境に優しいCO<sub>2</sub>削減」などのアドバイスが無料で受けられます。詳しくは、下記、ホームページをご覧ください。

ECCJ省エネルギーセンター <http://www.eccj.or.jp/> クール・ネット東京 <http://www.tokyo-co2down.jp/>

●問合せ先 環境推進課 温暖化対策推進係 ☎(3546)5406